

校長室より

令和 6年9月12日
校長 植野 博之



2学期になりました。この夏は猛暑日の連続で、9月に入っても、まだまだ暑い日が続き、体調等気をつけたいですね。

和歌山盲学校では、理療科は8月26日（月）、幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科は9月2日（月）に始業式を迎えました。

2学期も自分がやりたいこと、なってみたい自分に対して、1日1日1時間1時間を大切に取り組んでほしいです。予想もできない変化の時代に、自らの頭で、多様な意見を取り入れ、調整、修正しながら大好きな自分づくりをしていっていただければと思います。

「麺屋丈六」などラーメン店（らぁ祭チャリティイベント）の売り上げから和歌山盲学校に防災用品を寄贈していただきました！

8月のお盆の前には大きな地震が宮崎県沖で起こり、初めての南海トラフ地震臨時情報注意が国から発表されました。南海トラフ大地震はいつ起きるかわかりませんが、あらためて大災害への備えを考えさせられた出来事でした。

偶然にも以前より一般社団法人らぁ祭副理事長の丈六達司様から、関西電力地下食堂でのラーメン店イベントでより売り上げを和歌山盲学校に寄贈したいとお話をいただいていた。そこで本校では災害用物品として、太陽光発電と連動したポータブル電源と非常時用トイレを寄贈していただきました。県内の障害者支援を目的としたチャリティイベントで3年前から実施されているとのこと。台風や地震等、災害時には電源やトイレが大変困る中、大変貴重な物品です。らぁ祭の皆様、ありがとうございました。



近畿盲学校水泳大会がんばりました！

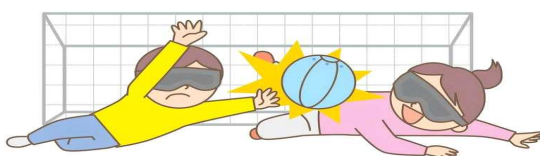
7月22日（月）神戸市常盤アリーナにて近畿盲学校水泳大会が開催されました。屋内水泳場で、主に高等部の水泳部の選手が出場しました。50M自由形や、背泳、バタフライ、リレー、平泳ぎ等様々な種目があります。本校からは高等部の生徒がクラブ活動として練習を重ね、25M自由形と50M自由形に出場し、大会では皆、自己新記録を出すことができました。

来年の近畿盲学校水泳大会も楽しみです。



和歌山盲学校主催の近畿盲学校ゴールボール大会へ向けて！

10月3日（木）に和歌山県立体育館にて、近畿盲学校ゴールボール大会が行われます。今年は本校が主管校で、当日は近畿の盲学校のトーナメント戦が行われます。ゴールボールはパラリンピックでも正式種目として採用されており、アイシェードをつけて、3人対3人で相手のゴールにボールをシュートします。大変固いボールですので当たると痛いこともありますが、本校生徒も意欲的に日々放課後に練習してます。健闘を祈ります。



和歌山盲学校では学校見学・体験入学等随時実施しています。

和歌山盲学校では、学校見学や体験入学等を随時行っています。本校では幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科、高等部専攻科があり、視覚に障害がある幼児児童生徒が通う特別支援学校です。



眼疾患等含め、弱視や全盲の幼児児童生徒が、見えにくさへの支援を受けながら学びます。専攻科ではあんま、マッサージ、針師、灸師等国家資格を取得するために専門的な学習も行います。大人になり、中途障害で視覚障害を有したため、本校に通学して資格を目指す生徒も多いです。寄宿舎もあるので遠方の方でも安心して学べる環境の整った学校です。視覚に障害のある方で、本校に関心のある方は、和歌山盲学校教頭または視覚支援センター（電話 073-461-0322）まで気軽にご連絡、ご相談ください。